

2007年度 早稲田大学 文化構想学部

日本史 解答例

〔Ⅰ〕 古代～近世の天皇 <易>

問1ウ 問2ア・オ 問3元明 問4天智 問5ウ 問6イ・エ
問7エ 問8禁秘抄 問9修学院離宮 問10武家伝奏

早大入試定番問題を含む基本問題。

〔Ⅱ〕 古代～近代の地方政治・地方支配 標準 <標準>

問1オ 問2ウ 問3オ 問4エ 問5今川仮名目録追加 問6ウ
問7イ 問8郡代 問9知藩事 問10地方税規則 問11オ

問5は正確には「今川仮名目録追加」となる。そこまで厳密な解答が求められているか否かははっきりしない。出題者が深く考えずに作問している可能性も大いにある。

〔Ⅲ〕 茶の歴史 <やや易>

問1イ 問2イ 問3栄西 問4茶寄合 問5闘茶 問6ばさら(婆娑羅)
問7イ・オ 問8オ 問9ア・エ 問10ウ 問11ウ 問12良妻賢母

問2だけが難問。この大問で2問以上間違えた人は文化史をあまりやっていないか、入試の出題率を意識していないかのどちらからである。問12などは「漢字4字」というヒントまでついているので非常に解きやすくなっていた。

〔Ⅳ〕 近世～現代の土地制度 <やや易>

問1指出 問2エ 問3オ 問4本百姓 問5エ
問6地券 問7ア・エ 問8オ 問9寄生地主 問10イ

これもまた早稲田定番の問題で、問10以外には難問は見あたらない。

講評

早稲田大学の公式サイトで告知されていたとおり、「教科書に書かれている歴史科目の基本的知識」ばかりの問題だった。ただし、その教科書とは特定の1つの教科書をさしているわけではない。かといって、用語集をすべて覚えることが求められているわけでもなかった。新設学部と言えども、早稲田の過去問を十分に分析・研究していたならば8割台後半を得点することは容易である。